

よくあるご質問(抜粋)に対する回答集

弊社 FAQ (<https://www.jcert.co.jp/support/faq/>) から、特に頻度高くご質問頂く事項につき、下記しております。

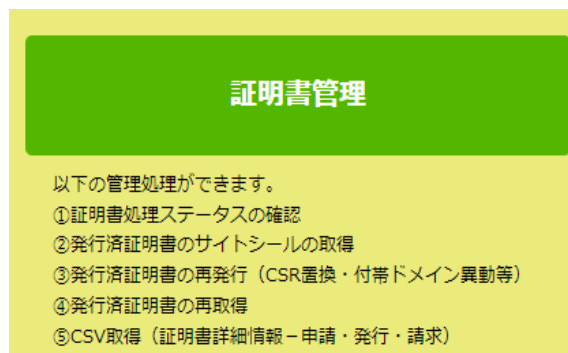
1. 無償再発行(CSR 置換、付帯ドメイン追加・削除、他)について

【注意事項】再発行後 72 時間で、再発行前の証明書(更新前証明書ではなく)は自動失効しますので、再発行前証明書をすでにサーバ上に設定済である場合には、再発行後 72 時間以内に置換を完了してください！

(ア) 証明書管理サイトにログインします。

<https://jstore-v2.jcert.co.jp/user/signin>

(イ) 「証明書管理」メニュー(左側上から 3 つ目)に進みます。



(ウ) 該当する証明書のドメイン名をクリックします。

(エ) 再発行により実施したい処理メニューを選択します。

(オ) 再発行申請ボタンを押下します。

(カ) 「再発行申請書」なる件名のメールを受信し、申請内容に間違いがないかを確認します。

(キ) 弊社による、米国認証局への再発行処理依頼は、平日 930-1730 に限ります。

(ク) 米国認証局による再発行処理においては、認証アルゴリズム判断で、通常発行時同様、各種認証手続き(ドメイン認証、電話確認等)が行われる場合があります。

2. 認証処理(ドメイン認証・電話確認等)の実施頻度は？

- (ア) おおむね、**2年に1度の頻度**、とご理解ください。(業界団体 CA Browser Forum 規則に準拠。)
- (イ) ただし、米国認証局アルゴリズム判断により、2年連続して実施されることがあります。
- (ウ) 実施有無については、お客様申請情報を弊社を介し米国認証局に Upload して初めて明らかになるため、弊社では事前に把握できません。
- (エ) 認証処理一覧【なりすまされない為に】については、以下弊社サイトをご参照ください：

<https://www.jcert.co.jp/procedure/authentication/>

3. www ある/なし ドメイン無償追加処理について

- (ア) コモンネームドメイン(マルチドメイン証明書の付帯ドメインは対象外)において、
- ① 左端階層に www を有する場合には、www を除去した ドメインを、
 - ② 左端階層に www を有さない場合には、www を付加した ドメインを、付帯ドメインとして無償追加して提供するサービスです。
- (イ) 結果的に、シングルドメイン証明書であっても、仕様としてはマルチドメイン証明書として提供されることとなります。
- (ウ) マルチドメイン証明書の場合には、**購入頂いた付帯ドメイン枠数の枠外で、無償追加致します。**

(エ) **ワイルドカード証明書の場合には、上記(ア)①において、“www” を “*” に読み替えてください。(ワイルドカード証明書では、上記(ア)②の適用はありません。)**

- (オ) なお、本サービスの利用には、証明書発行時の ドメイン認証において、以下弊社サイト 認証処理一覧【なりすまされない為に】の 2 - a【メール認証】あるいは 2 - b【DNS 認証】のいずれかを選択する必要があります：

<https://www.jcert.co.jp/procedure/authentication/>

4. pxf (pkcs12) 形式ファイル の生成方法について

(ア) 米国認証局から提供された【SSL/TSL サーバ証明書】と、お客様サーバ環境に限り厳格に保存されている【秘密鍵】をひとつのファイルに同梱するためのファイル形式です。

(イ) 【秘密鍵】が一旦外部漏洩すると、お客様のサーバ危殆化(悪意ある第三者に盗み見されるリスクに晒される)に直結しますので、pxf (pkcs12) 形式ファイル の生成作業は、お客様ご自身か、あるいはお客様が守秘義務を課した委託先(サーバ管理会社等)に限定し、実施するようにしてください。(弊社ではお請けできません。)

(ウ) 生成方法については、以下弊社ガイドをご参照ください:

https://www.jcert.co.jp/support/pdf/faq3/OpenSSL_PKCS.pdf

5. 暗号化通信仕様(セキュリティ・プロトコル(TLS)バージョン、暗号スイート)について

当該仕様は、サーバ証明書ではなく、お客様サーバの機種あるいは設定条件に依存する変数です。

お客様サーバの設定状況(セキュリティ・プロトコル(TLS)、暗号スイート)は、以下サイト(グローバルに広く利用しているサイトです)にて詳細に確認できます:

<https://www.ssllabs.com/ssltest/>

なお、セキュリティ・プロトコル(TLS)のバージョンの利用可否については、以下日経 BP 社公開情報を参照してください:

<https://active.nikkeibp.co.jp/atcl/act/19/00437/012000001/>

6.